

学校便り

No. 522



子育てのむずかしさ ～「親心のはずが」～

副校長

今月は、私の**自戒の念**を込めて書いていきたいと思えます。

「這えば立て、立てば歩めの親心」という諺があります。子どもの一日でも早い成長を楽しみにする親の心を表していますが、そこには、親の「欲」が見えるような気がします。

皆、産まれる前は、無事に産まれてほしい。産まれてからは、健康に育ててほしいという願いをもっていると思います。産まれてきてくれたことを、純粋に喜び、笑顔を返してくれるだけでうれしかったことを私も覚えています。ところが、やがて親の「欲」が生まれてくるのです。

我が子に、できるだけつらい思いはさせたくない、幸せな人生を送ってほしいと願うのは「親心」です。そこで、運動ができたほうがいと幼児期からスイミングスクールに通わせたり、小学校に入ってから苦労しないようにと幼児教室で勉強させたり…となる場合があります。

こうした親の願いや働きかけは、「子どものため」という前提があるため、決して悪いことではありません。しかし、「子どものため」という「親心」であるがために、行き過ぎてしまう場合もあります。そして、「子どものため」といいつつながら、実は、自分の不安の解消や自己満足のために、子どもに無理なことを要求している場合も少なからずあるのではないのでしょうか。

人間は、相手のためによかれと思ってやっているのにうまくいかないと、腹が立つようにできています。一生懸命努力してきたつもりで親ほど怒りは激しくなります。

こうした叱咤激励に対して、「自分是可以る！」と踏ん張って乗り越えたり、やめたいことをはっきり親に伝えられたりする子は、それほどダメージを受けないのかもしれませんが、しかし、真面目で責任感の強い子どもほど、親の意向をくみとり、我慢に我慢を重ねてしまいます。「本当は嫌だけど、嫌とは言えない」「やめたいけど、やめると言ったらがっかりさせてしまう」など、心の中での言葉にできない葛藤が大きくなり自分では抱えきれなくなると、身体症状に現れたり、精神的な症状に現れたりするようになります。

もし、子どもの身体症状や言動に何らかのいつもと違う感じを受けたのならば、それは、子どもからの助けを求めメッセージかもしれません。気付いたときに、「SOSなのかも」と考えてみてください。

私自身の言動を振り返ってみると「親心」という名の押しつけになっていたりと、親の「欲」であったり、世間体であったりすることも多かったような気がします。これらのことは子育てが終わってから気が付き、**今さらながら反省している次第です。**

保護者会・個人面談について

教務部

1 保護者会

〈日時・場所〉

7月4日(木) 各教室

・1・2・3学年 —14:00～

・4・5・6学年 —15:00～

〈主な内容〉

- ・1学期の学習や生活について
- ・夏休み中の学習や生活について
- ・今後の主な行事 等
- ・PTA より

※5・6年は宿泊行事説明会も行います。

2 個人面談

〈実施日〉 7月22日(月)、23日(火)、24日(水)、25日(木)、26日(金)、の5日間。

〈場 所〉 各教室

※研修や出張等があるため、担任によって面談日の設定が異なります。ご了承ください。

※6月28日(金)に決定通知を配布しました。ご都合が悪くなった場合は、担任までご連絡ください。



ユニセフ募金活動終了報告

代表委員会担当

6月20日(木)にユニセフ集会を行いました。世界には、貧しくて食料が手に入らなかったり、安全な水を飲むことができなかったりする子どもがいることをクイズにして発表しました。また、飢えに苦しむ子どもたちの動画も見ました。

次の日、6月21日からの3日間、募金活動を行いました。代表委員会の児童が大きな声で「ユニセフ募金にご協力をお願いします。」と呼びかけ、日に日に募金してくれる児童も増えてきました。3日間で集まった募金は、約3万円です。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



校内研究の取り組み

研究主任

本校では昨年度までの3年間、学級活動の研究を進めてきました。学級のみならず話し合い、実践し、振り返ることを通して、これまで気付かなかった友達のよさや、みんなで一緒に取り組むことの楽しさに気付くことができました。

今年度は、学級活動で培った力を他教科・領域でも生かすことができるよう「対話的に学び合う児童の育成～小グループを活用して～」をテーマに研究しています。

私たち教師は、授業の中で小グループでの話し合い活動をよく取り入れます。そのねらいは、自分の考えを友達に伝える力を身に付けさせたい、友達の考えを聞いて自分の考えを広げてほしい、友達と自分の考えを比べ共通点や相違点を見付け出したいなど、学年によっても授業のねらいによっても様々です。本校の研究は、子どもたちの学習が授業のねらいに迫るためには、どのような教師の手立てが有効なのかを検証するものです。

本研究を通して、対話的に学び合うことのよさや楽しさを感じ、自ら自分の思いや考えを発信したり、友達の思いや考えを受け止めたりすることができる子に育ててほしいと願っています。

給食室から

栄養士

給食室の内側はあまり知られていません。朝の消毒、水質検査、調理した料理の温度測定など、衛生管理は徹底されています。また、野菜は手切り、出汁やスープは鰹節・昆布・鶏ガラを使い、ルーは手作りと家庭の味に近づくように努力しています。このように調理員と栄養士の想いが詰まった給食は、毎日食べても飽きません。今年度も株式会社藤江の調理員の方々が全校約220食を作ります。どうぞよろしくお願いいたします。



仲よし班活動

特別活動担当

本校の仲よし班は、1年生から6年生までが5つのグループに分かれて活動しています。子ども同士が遊びを通して学年を超えた交流ができるように、今年度は年間9回「仲よし班活動」を設けています。その他にも、グリーンアドベンチャー(10/22)や、みんなで働く日(11/22)にもこのグループで活動します。また、体育館入り口横には仲よし班の掲示板があります。活動の計画や様子を掲示していますので、ぜひご覧ください。

毎年、班の名前は6年生が考えます。今年度はフルーツの名前がついています。6年生の班長を中心に、下級生が楽しく遊べるよう、気を配りながら活動を進めています。1年生から6年生までのみんなが同じ天神小の仲間としてこれから1年間、楽しく活動していきます。



算数少人数から

算数少人数指導担当

本校では、3～6年生の算数を、クラス2分割した「少人数指導」で行っており、担任と少人数担当が分けたクラスをそれぞれ担当しています。

子どもたちは学習の中で、問題に対する考えを言葉や式、絵や図、数直線などを使って書き表していきます。自分の考えを友達同士や全体の場で交流することで、「そういう考えもあるんだ。」「こちらのほうが早くできそう。」「自分と同じ考え方だ。」など、学び合っています。また、自分の考えを言語化することで、自分の思考の過程を整理して表現することができるようになっていきます。

ぜひご家庭でも、算数のことを話題にしていただけると、ありがたく思います。

7月の生活目標「健康に気をつけて生活しよう」

- 進んで元気な声で挨拶する。
- 持ち物に名前をつける。
- 持ち帰る物の整理をする。

7月の主な予定

日	曜	朝	行事等
1	月	全校	読書週間終 あいさつ(バナナB) 委員会活動④
2	火	学級	安全指導 あいさつ(バナナB)
3	水	B	こころの劇場(6)
4	木	B	学校保健委員会 あいさつ(ももA) 保護者会(移動教室説明会5・6)
5	金	読み聞かせ	
6	土		
7	日		
8	月	全校	あいさつ(ももA) クラブ活動④ 下水道アドベンチャー(4) まなびの教室指導終
9	火	学級	プラネタリウム視聴学習(4) あいさつ(ももB)
10	水	B	
11	木	集会(集会委)	避難訓練 あいさつ(ももB)
12	金	読み聞かせ 図書委員	小中連携のため4時間授業
13	土		
14	日		社明パレード
15	月		海の日
16	火	T朝	食育指導
17	水	B	
18	木	ドリル	給食終
19	金	B	終業式
20	土		
21	日		夏季休業日始
22	月		個人面談① まなびの教室個人面談
23	火		個人面談②
24	水		個人面談③
25	木		個人面談④
26	金		個人面談⑤ まなびの教室保護者向け研修会
27	土		

8月の主な予定

24	土		夏季休業日終
25	日		
26	月	B	始業式
27	火	学級	給食始 伊那移動教室事前検診(6) まなびの教室指導始
28	水	B	伊那移動教室始(6)
29	木	ドリル	計測(4・5)
30	金	読書	伊那移動教室終 計測(1・2・3) 脊柱側弯検診(5)
31	土		

令和6年7月1日

・・・ 一人一人が輝き学び合う学校 ・・・

新宿区立天神小学校